

# 学校徴収金集金システム導入及び運用保守業務仕様書（案）

## 1 事業名

学校徴収金集金システム導入及び運用保守業務

## 2 履行期間

導入業務：契約締結日から令和9年（2027）年3月31日まで

運用業務：令和9（2027）年4月1日から令和10年（2028）年3月31日まで

## 3 履行場所

みよし市役所、みよし市内12小中学校

## 4 目的

本業務は、従来指定金融機関からの口座振替や児童生徒の直接持参により徴収していた学校徴収金について、保護者がスマートフォン等を使用して任意の支払い方法を選択できるようにすることで保護者の利便性の向上を目的とする。また、学校徴収金のシステムを導入することにより、効率的に請求、集金管理等を可能にすることで、教職員の事務負担の軽減及び事務処理の効率化を図ることを目的とする。

## 5 保護者等の支払い方法

保護者等からの集金は以下の方法によるいずれか、又は複数を想定しており、利便性向上を図るものとする。

- (1) キャッシュレス決済（クレジットカード決済等）
- (2) コンビニ決済
- (3) 口座振替

## 6 運用要件

運用要件は以下のとおりとする。

### (1) 費目

- ア 教材費
- イ 学年学級活動費等
- ウ 放課後児童クラブに関する費用
- エ 地域クラブに関する費用

### (2) 対象学校

みよし市内小中学校12校（小学校8校、中学校4校）

(3) 利用者

児童生徒の保護者及び教職員

(4) 集金総額（年間）

189,432,400 円

※内訳については、別紙1「運用要件一覧」のとおり。

7 基本要件

基本要件は以下のとおり。

- (1) 既存のパッケージシステムを導入することとし、提案時点で運用が開始されていること。
- (2) クラウド型の提供システムであること。
- (3) 本システムは、24時間365日利用可能であること。なお、システム運用に最低限必要な時間の停止についてはその限りではない。
- (4) 学校側において、パソコン上で利用する管理用画面はブラウザ（Google Chrome、MicrosoftEdge、Safari 等）により利用できるweb アプリケーションとし、ソフトウェアのインストールおよびプラグイン等の追加インストール、制御モジュール等の適用作業が一切不要であること。
- (5) 保護者等のスマートフォン等の携帯端末（iOS 及び Android）で動作する専用アプリとして提供すること。  
※スマートフォンアプリは iOS（App Store）および Android（Google Play）で認証済みであり、各ストアからダウンロードできること。
- (6) ブラウザのバージョンアップに随時対応すること
- (7) 管理者画面は、ID・パスワードによりログインでき、学校ごとに管理者アカウントを設定できること。
- (8) IP アドレスによって、接続制限をかけられること。
- (9) 学校ごとに管理者アカウントを設定できること。
- (10) システムへのアクセス制御を行う機能を有するとともにシステムログ及びアプリケーションログを取得し、取得したログの漏洩、改ざん、消去、破壊等を防止できる機能を有すること。

8 機能要件

別紙2「機能要件一覧」のとおり

9 セキュリティ対策

- (1) ウイルス対策、不正アクセス対策を実施すること。
- (2) ソフトウェアの脆弱性への対応について、深刻度を踏まえ、適切に実施すること。

と。対応にあたり、業務影響を伴う場合については、事前に発注者への連絡を行うこと。

- (3) インターネット上の通信について、TLS1.2 以上での暗号化を行うこと。
- (4) データセンターも含め、受注者の利用するシステム環境について、国内法の適用を受ける環境とすること。
- (5) システム障害に備えたバックアップを取得すること。日時で自動取得されること。
- (6) システムメンテナンス等についても、十分セキュリティに配慮した環境で実施すること。
- (7) サービス利用終了後には、発注者のデータを復元不可能にするため、消去すること。また、消去証明書を発行することを基本とするが、応じられない場合については、データ消去の期限を明示する等の取り決めを行うこと。
- (8) 脆弱性対策として、未知のウイルスやマルウェア等の対策を講じ、必要に応じ OS やミドルウェアのパッチやバージョンアップ等の諸施策を実施すること。
- (9) 継続的に利用ソフトウェアに係る脆弱性情報の収集を行い、脆弱性が判明した際には、深刻度を踏まえ適切に実施すること。また、対応にあたり、業務影響を伴う場合には、事前に発注者への連絡を行うこと。
- (10) 本システムを提供する事業者は、「プライバシーマーク」を取得していること。また、以下のいずれかの認証を取得していること、又は同等以上のセキュリティ水準を有すること。
  - ア プライバシーマーク
  - イ ISO/IEC27001 (ISMS)
  - ウ ISO/IEC27017

## 10 サポート・保守について

- (1) 運用開始前に、教職員向け操作説明会を実施すること（オンライン対応可）。
- (2) 利用方法について、保護者へ向けて操作マニュアル等を提供すること。
- (3) システム操作等に関する不明点への問い合わせに対応するヘルプデスクを設け、電話及び電子メール等によるサポートを行うこと。
- (4) 契約時には、操作マニュアルを電子データで納品すること。また、契約期間内に製品がバージョンアップされた場合は、バージョンアップされた全ての機能を発注者の求めに応じ、利用することができること。また、既存マニュアル等の改版及び修正を行い、発注者に提供すること。
- (5) システムに障害が発生した場合には速やかに障害発生原因の診断、及び復旧作業を行い発注者に報告すること。

#### 11 利用料の支払い

- (1) 利用料は、年額を一括払いとし、受注者より提出される請求書により支払うものとする。受注者は、発注者に適正な請求書を提出し、発注者は、請求書を受理してから30日以内に支払うものとする。
- (2) 受注者は、発注者の自己の責めに帰すべき理由により利用料の支払いを遅延したことにより損失を生じたときは、発注者に対し、その損失の補償を請求することができる。この場合における補償額は、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

#### 12 契約の解除

- (1) 発注者は、受注者がこの契約に違反したと認められるときは、この契約を解除することができる。
- (2) 前号の場合において、受注者に損害が生ずることがあっても、発注者はその損害を賠償しないものとする。

#### 13 その他

- (1) 受注者の責めに帰すべき理由により、本市又は第三者に損害を与えた場合、受注者がその損害を賠償すること。
- (2) この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書に疑義の生じた場合は、双方協議の上定めるものとする。

## 別紙1

## 運用要件一覧

費目	金額	日数	人数	回数	合計
小学校学年費等	約21,000円/年		3,651	10	76,671,000
中学校学年費等	約31,000円/年		1,812	10	56,172,000
教職員給食費	340円/食	200	586	11	39,848,000
放課後児童クラブ保険料	800円(年1回)		933	12	746,400
放課後児童クラブ昼食代 (夏季)	300円/食	40	975	2	11,700,000
放課後児童クラブ昼食代 (冬季・学年末)	300円/食	10	835	2	2,505,000
地域クラブ保険料等	1,790円(年1回)		1,000	12	1,790,000
合計					189,432,400

※なお、回数及び金額については令和6年度実績に基づく概算であり、増減することがある。

## 機能要件一覧

No	要件
1	児童生徒情報（ID・氏名・所属クラス又はグループ）は、学校側で一括登録ができること。
2	児童生徒情報は、追加・修正・削除できること。
3	児童生徒情報を学校ごとに管理できることとし、各学校では自校分のみ管理運用ができること。
4	学校ごとに登録された児童生徒の保護者等のみ利用登録できること。
5	管理者画面にて、保護者等の利用者登録（各児童生徒に紐付く登録）の有無を確認できること。
6	保護者が利用登録をするため、学年・クラス等を指定した登録用案内書が発行又は提供できること。
7	最初の利用者登録後、振替の都度、登録作業を要しないこと。
8	児童生徒の進級に合わせ、任意のタイミングで管理者（学校側）が進級処理を行うことができること。
9	対象の保護者等に対し、事前に支払予定日や振替金額に関するメッセージを発信できること。
10	対象の保護者等に対し、未納を知らせるメッセージが発信できること。
11	対象の保護者に対し、徴収金の内訳の表示ができること。（例：ファイル、用紙）
12	メッセージの文面は学校側でカスタマイズができること。
13	児童生徒ごとに個別の金額設定ができること。
14	費用項目ごとに入力ができること。
15	督促状の作成は自動化され保護者へのメール機能等を備えていること。
16	振替情報は、CSV ファイルなどをインポートすることで一括登録できること。
17	学校側で登録している児童生徒情報と振替情報に相違がある場合、エラー情報として出力できること。
18	振替結果を自動的にシステムに反映ができること。
19	徴収金は学校側が指定した任意の口座へ振り込まれること。
20	未納後の追加徴収分について、学校にて振替結果ステータスを手動で更新し、消込管理ができること。
21	返金機能があること。
22	年単位・未納者等の条件で抽出して収納状況を一覧表示できること。
23	エクセルファイル又は CSV ファイルにて一括ダウンロードができること。
24	事業者への振込ができること。
25	複数の職員が同時に入力作業ができること。
26	利用料は利用者によって、利用者負担か市負担か選択できること。
27	保護者宛に学校及び教育委員会から、任意のお知らせを発信できること。
28	懇談会等の日程調整ができること。
29	欠席連絡ができること。
30	ポルトガル語等複数言語に対応ができること。